

# 議会レポート 19

住所：千代田区九段南1-2-1千代田区役所7階 発行：千代田区議会 自由民主党

千代田区議会  
令和二年  
第三回定例会

一般質問  
コロナと共生した  
都市マスタープランへ  
コロナ禍における  
低未利用区有施設の  
活用について



内田直之

一般質問  
コロナによるロスや  
ダメージを



うがい友義

一般質問  
千代田区防災会議について  
広報広聴課の在り方について



西岡めぐみ

一般質問  
予算・決算  
特別委員会



桜井ただし

一般質問  
新型コロナウイルス感染症に備え  
保健所機能の強化について  
コロナ禍における弁当の  
路上販売と区の対応について

予算・決算特別委員長  
嶋崎秀彦



嶋崎秀彦

コロナ対策補正予算  
可決  
令和元年度決算  
不認定



小林たかや



小林たかや

小林やすお



小林やすお

河合良郎



河合良郎

林 則行



林 則行

たかざわ秀行



たかざわ秀行

はやお恭一



はやお恭一

永田壮一



永田壮一

山田丈夫



山田丈夫

池田ともり



池田ともり

皆様のご意見をお聞かせください。  
千代田区九段南1-2-1  
千代田区役所7階  
電話 5211-4320  
FAX 5275-6882  
千代田区議会自由民主党



一般質問（要旨）

**内田直之**

所属委員会  
保健福祉委員会  
議会運営委員会  
景観・まちづくり特別委員会  
災害時要配慮者等対策特別委員会

こちらの  
QRコードで  
発言動画を  
ご覧になれます



一般質問（要旨）

**西岡めぐみ**

所属委員会  
地域文教委員会  
オリンピック・パラリンピック対策特別委員会  
文化財保護・活用特別委員会

こちらの  
QRコードで  
発言動画を  
ご覧になれます



## コロナと共生した都市マスタープランへ

**問：**新型コロナウイルスの感染拡大により、社会の在り方は大きく変わった。コロナと共生したまちづくりへの転換が必要である。ニューノーマルが求められ、新たに配慮すべき課題が顕在化した中で、改定中の都市計画マスタープランは見直すべきと考える。

**答弁：**ご指摘通り、新型コロナ危機を契機に改めて、ウィズコロナ、アフターコロナのまちづくりに向けて必要な検討を行って行く。既に、様々な分野の有識者に追加ヒアリングを始めた。東京都や国においても都市機能の集積など、広域的な観点を中心に議論がなされており、これらも参考に検討を進めて行く。

## コロナ禍における低未利用区有施設の活用について

**問：**千代田区では東京ドームより大きな面積の低未利用地が長年放置されている。方向性が決まるまで、コロナ感染症対策とした暫定利用と明確に位置づけ、子ども達のスポーツや遊びの場としての有効活用を提案する。

**答弁：**ご指摘通り、利用できる空間や時間がないか、子供たちのスポーツや遊びの場として有効活用できないか、所管する関係部署が協働で議論し、しっかりと取り組んで行く。

その他、「地区計画における合意形成」「区長任期と都市マスの整合性」等も質問。

詳しくは、千代田区議会ホームページ <https://gikai-chiyoda-tokyo.jp/>

## 千代田区 防災会議について

**問：**気候変動により想像出来ない様な災害が起きているにも関わらず、平成29年以降、本区防災会議は開催されていない。しかも委員44名中、女性委員は3名のみで、時代のニーズに合った防災、避難所運営対策に女性の声が反映され難い状態なのではないか。

コロナ禍での避難所運営対策と同時に、女性や子供目線で実務的な検討が出来る場を設け、今後は女性比率を上げる為の尽力をして頂きたい。

**答弁：**可能な限り運用上の工夫等で女性参加を働きかけ、検討していく。コロナ禍での避難所運営は各出張所で開設される自主避難所の運用について、女性や子供の視点や意見を参考に声が反映出来る様、努めていきたい。

## 広報広聴課の在り方について

**問：**区の行政情報発信の一部である広報紙は、現在は新聞折込のみだが、区内コロナ対策や給付金情報等も記載されており、今後はSNS等も併せ、全戸配布に改善してはどうか。

又、広報広聴課が地元企業や観光協会と連携し、双方のノウハウを補いながら参画・協働の機会を創出して行く事で、結果的に区民生活の向上や自治行政への信用醸成に繋がる様、その橋渡し役を担えているか。

**答弁：**広報紙の最適な全戸配布方法を効果検証していく。LINE機能も利用し、区民ニーズに合わせて情報提供するセグメント配信等検討する。観光協会と共同勉強会、企業CSR活動等、これらと行政ニーズを繋げる事も、区民生活向上の為の役割であると考えている。

詳しくは、千代田区議会ホームページ <https://gikai-chiyoda-tokyo.jp/>



## コロナによるロスジェネをつくらない

**問：**リクルートワークス研究所は、2021年春の卒業予定の大学生、大学院生に対する企業の求人数が前年比の15.1%減の68万3,000人とする推計結果を発表しました。今年千代田区は490人ほど新成人が誕生します。「住み続けられる千代田」まさに「住み、働き、学び、集う」地域社会の担い手となるこの若者の雇用問題に対して、区としてどのような取組を行おうとされているのでしょうか。

**答弁：**新型コロナウイルス感染症の影響で経済低迷が長期化することにより、若い世代に限らず広い世代で雇用環境が悪化することが懸念されます。大手企業ではリモートによる面接を実施する企業も多くなるなど、新たな就職活動のスタイルも生まれています。このような変化に対応できない中小企業の採用活動との間で格差が拡大していく一方で、こうした時代だからこそ人材を確保できるチャンスだと考え、積極的に若い世代を採用する中小企業も少なからず現れてくることと思います。より広い視野でその可能性を伸ばしていく為に1つの自治体で取り組むことには限界があります。国や東京都の労働行政機関との連携や役割分担も含め、これから就職しようとする若い世代の視点に立った慎重な検討が必要な課題だと考えています。



詳しくは、千代田区議会ホームページ <https://gikai-chiyoda-tokyo.jp/>



一般質問（要旨）

**うがい友義**

所属委員会

企画総務委員会

景観・まちづくり特別委員会

文化財保存・活用特別委員会

こちらの  
QRコードで  
発言動画を  
ご覧になれます



## 新型コロナウイルス感染症に備え 保健所機能の強化について

**問：**新型コロナウイルス感染症への区の対応について説明を求める。区民の安全・安心と命を守るため幅広い専門的な知識や技術を有する職員のマンパワーが必要。保健所の職員体制の強化を早急に図るべき。合わせて作業スペースや 関連機材の確保などハード、ソフト両面にわたる対応が必要。本区も人口増に伴い保健所機能を兼ね備えた健康センターなどを設置すべき。

**答弁：**感染拡大の防止や医療崩壊を防ぎ、区民の命と健康を守るため国や都、地域の医療機関等と連携、協力し新型コロナウイルス感染症対策に取り組んできた。議員ご指摘の通り感染症の流行に備え、保健師など専門職の増員を図り、スペースについては区有施設を活用し分庁舎を設ける等取り組む。

## コロナ禍における弁当の路上販売と 区の対応について

**問：**コロナ禍にあって、区内の飲食店は大変厳しい経営を強いられている。路上での弁当販売に対して区はどのような監視・指導をしているのか。警察とはどのような指導をされているのか。来年6月の食品衛生法改正で何が変わるのか。

**答弁：**弁当の路上販売が衛生的に売られているか許可証の確認と監視指導に努めている。弁当の販売は都内保健所で許可されたものであれば、千代田区でも販売ができてしまう。今後も引き続き監視指導を行い、警察とは合同で取り締まりを行う。令和3年より販売は許可から届出に移行。保健所では、より衛生面における監視・指導を徹底する。



一般質問（要旨）

**桜井ただし**

所属委員会

企画総務委員会

景観・まちづくり特別委員会

災害時要配慮者等対策特別委員会

こちらの  
QRコードで  
発言動画を  
ご覧になれます



詳しくは、千代田区議会ホームページ <https://gikai-chiyoda-tokyo.jp/>

# 予算・決算特別委員会 委員長報告

**令和2年度一般会計補正予算第4号は可決 令和元年度各会計決算は不認定**

9月9日に第3回区議会定例会区長招集挨拶がありその後、約1か月間にわたり活発な議論がされました。今定例会は、令和元年度の決算を審査する特に重要な議会であり、新型コロナウイルス感染症予防対策に関する補正予算も提出されたことから、予算・決算特別委員会が設置されました。

「補正予算第4号」は、**介護施設等のPCR検査の拡充、インフルエンザ予防接種助成、リモートワーク実証実験**に関わる予算を追加するものです。

審査に入る前に、インフルエンザ予防接種助成事業の記事が議決前に関わらず区広報紙に掲載されたことや区特別支援給付金に関する情報が公式報道前にマスコミに



**3,894万円**

漏れていたこと、予備費の活用基準の不透明さなどが指摘されました。これらの問題を区側に追及しましたが、十分な説明が示されないことから当日は閉会となりました。改めて委員会を開催し、説明を受けたのち審査を行い、自民党からは「審査前に区民に事前周知したことは議会との信頼を反故にしたが、介護施設等の新規利用者等への区独自のPCR検査の実施など新たな生活様式への対応として、評価する。」との賛成討論があり、**賛成全員で可決すべきと決定しました。**



予算・決算  
特別委員長報告

**嶋崎 秀彦**

所属委員会  
予算・決算特別委員会  
保健福祉委員会  
オリンピック・パラリンピック対策特別委員会  
災害時要配慮者等対策特別委員会



**1,563万円**

次に、令和元年度各会計決算は、詳細な審査を3分科会で調査を行ったのちに、総括審議に入りました。分科会の調査で「軽井沢少年自然の家の活用」「旧箱根千代田荘の活用」「居住支援の充実」の3項目を総括で審議すべきとなりました。「**軽井沢少年自然の家の活用**」では、先の議員の方々が歳費を積み立て、敷地の購入資金として寄附を申し出たことや、現議員たちの小中学時代での思い出が詰まる場所として、深い想いがあるにも関わらず、区側は施設活用の検討もせず、毎年維持管理費で1億6千万円前後の支出があることが明らかになりました。「**旧箱根千代田荘の活用**」でも、明確な活用方針が示されませんでした。質疑を終了し、自民党からは「軽井沢少年自然の家」については、学校経営方針などで利用しない姿勢であること、「旧箱根千代田荘の活用」については、有償貸付に拘り、活用方針の明確な答弁がありませんでした。また、区長の議会解散時における教育長の委員会欠席が独自の判断で行い、教育委員会にも諮らなかつたことや、本庁舎のPFI事業終了に伴う新たな施設管理運営にも課題があることが明らかになりました。また、「区長の議会無視の行政運営は遺憾であり、職員のモチベーションも

議員氏名	賛成	反対	議員氏名	賛成	反対	議員氏名	賛成	反対	議員氏名	賛成	反対
1 小野なりこ	○		9 西岡めぐみ		×	17 たかざわ秀行		×	25 小林やすお		×
2 岩佐りょう子		×	10 飯島和子		×	18 はやお恭一		×			
3 長谷川みえこ		×	11 牛尾こうじろう		×	19 米田かずや	○				
4 小枝すみ子		×	12 木村正明		×	20 大串ひろやす	○				
5 秋谷こうき		×	13 池田とものり		×	21 林則行		×	出席議員数	25人	
6 岩田かずひと		×	14 山田丈夫		×	22 嶋崎秀彦		×	表決総数	24人	
7 小林たかや			15 永田壮一		×	23 河合良郎		×	賛成	○	3人
8 うがい友義		×	16 内田直之		×	24 桜井ただし		×	反対	×	21人

低下させている。スポーツ振興基本計画における**不正契約**では担当者に責任を負わせ、当時の管理監督者を重要なポストに就け、事件発覚後もその任務をあたらせている。区の信頼を失墜させた責任は区長にあることは明確であり、石川区政のもとでの行政運営は決して看過できるものではない。」との反対討論があり、**賛成少数で否決すべきと決定しました。**